



谷崎病院事業管理者(左)の話を熱心に聞く参加者の皆さん

健康保持に役立てて

下寺若葉会ふれあいサロン

岡山いこいの村で 3月11日、下寺若加葉会ふれあいサロンが行われました。下寺地域の皆さん約50人が参加し、市民病院の谷崎眞行病院事業管理者を講師に迎え、メタボリックシンドロームや市民病院の現状と将来構想についての話を聞きました。

参加した山本隆明さん(69歳・邑久町 福谷)は「高齢者の参加が多かったので、健康保持に関する役立つ話が聞けてよかったです。みんな喜んでいました」と感想を話していました。

これからも市民病院では、希望があれば地域に向き講演会を行う予定です。詳しくは、市民病院(☎0869-2211234)へお問い合わせください。

お人形さんありがとう

感謝の気持ちを込めて人形供養

邑久町本庄の地藏院で 3月25日、今年で21回目を迎えた「人形供養」があり、お雛さまやぬいぐるみなど約8千体の人形が、県内外から寄せられ、供養されました。

29人の地元の子もたち、人形を載せた花車を引き行列。その後、人形とその霊を移した塔婆が、護摩壇に供えられ、たかれました。

読経の中、参加者の皆さんは、子どもたちの健全な成長を願い、感謝の気持ちを込めて、人形に別れを告げました。



参加者が手を合わせる中、人形がたかれました

子どもたちの思いよ届け

カンボジアへ井戸募金

3月12日、牛窓西小学校(横川日出子校長・児童数112人)の児童たちが、カンボジアに井戸を作る資金にしたいと、カンボジアの村を支援する会代表の村田みつおさん(倉敷市)に、募金を手渡しました。

「きれいな水をカンボジアの人たちに、飲んでもらいたい」との思いから、橋崎天平君(11歳・牛窓町鹿忍)ら運営委員会のメンバーが発起人となり、活動。ポスターや校内放送で、全校児童に募金を呼び掛けたり、手作りの募金袋を作成したりして、2万3千円余りの募金が集まりました。

児童たちの優しい思いは、きっとカンボジアの皆さんの心に届くことでしょう。



運営委員会のメンバーが村田さん(左)に募金を手渡しました

家族そろって人生の節目の記念に

家族の森づくり植樹のついで

長船美しい森で3月11日、家族の森づくり植樹のついでが行われました。結婚や子どもの出生など、人生の節目の記念に苗木を育て、その苗木を家族そろって植樹しようと、県内から120人が参加。

シラカシ、コナラなど約2千本の苗木を、冒険の森の斜面0.1ヘクタールに植樹しました。

参加した家族連れは、協力しながら苗木を丁寧に植え、木や森の大切さや思いやりの心について、再確認していました。



「大きなあれ」と願いを込めて植えました

「水・共生・再生」

浄化センター壁面にアートパネルがお目見え

邑久浄化センター建設工事現場(邑久町豊原)の南側に作られた壁(高さ3.3m・長さ200m)に、色鮮やかなアートアルミパネルが取り付けられ、景観のイメージアップに役立っています。

作成したのは、邑久高校美術部生徒8人と邑久中学校美術部生徒20人。昨年12月頃から作業を始め、3カ月程度かけて完成しました。テーマは「水・共生・再生」。

アルミパネルを水滴の形にカットし、ペンキで絵を描きました。

長い壁にカラフルな絵が、とてもすてきです。このアートな壁画は、平成21年春頃まで、市民の皆さんの目を楽しませてくれます。



邑久浄化センター南側に取り付けられたアートパネル



写真を始めて10年目の節目の年を迎えた古武さん

瀬戸内の美しい風景を撮る

古武さん、写真でグランプリに輝く

よみうり風景写真コンテスト2006「心の風景を撮ろう」(読売新聞社主催)で、古武須弥雄さん(74歳・邑久町本庄)が、応募作品約1万1千点の中から最高賞のグランプリに輝きました。

写真は、「橘海岸の月によって、美しく輝くかきいかだを撮りました。支えてもらった多くの仲間」に感謝しています。と古武さんは、喜びを話していました。



グランプリに輝いた「月の足跡」